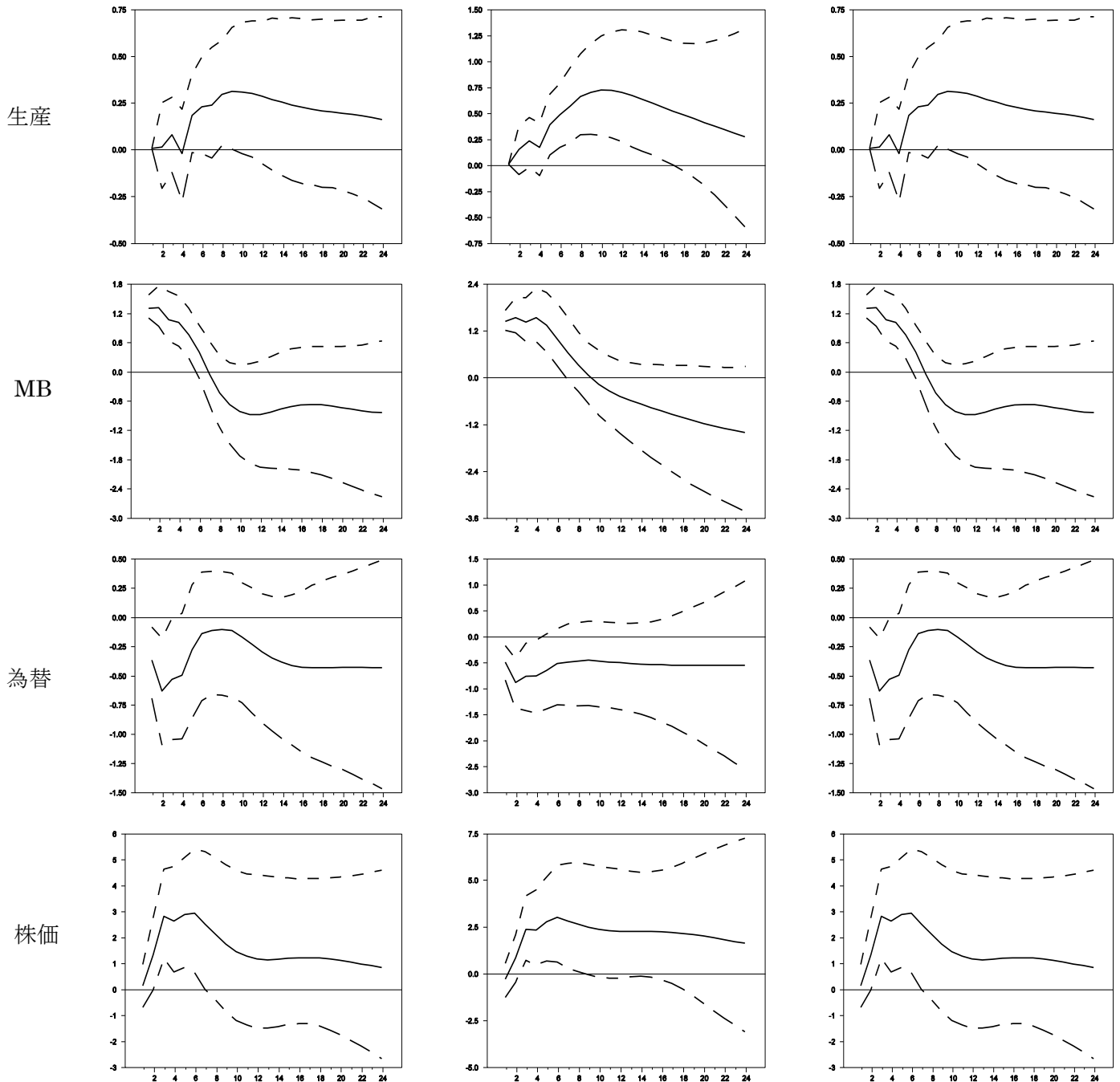


付図表 1. 量的緩和期のマネタリーベース増加が及ぼすマクロ経済効果  
 —4変数（生産、MB、為替レート、株価）モデル—

①2001年3月-2006年3月

②2001年3月-2007年3月

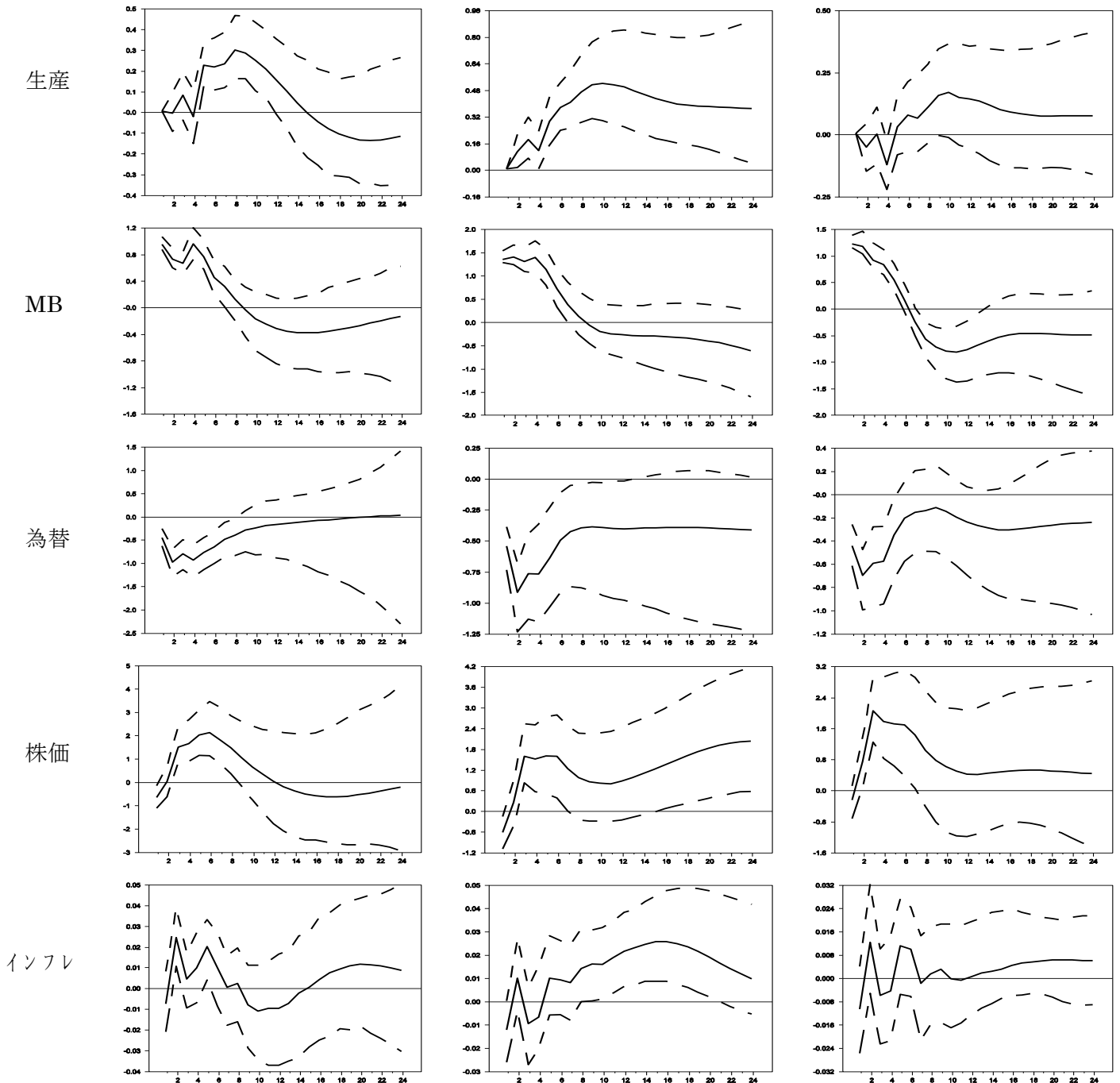
③2002年3月-2007年3月



注：実線はマネタリーベース・ショックが各変数に及ぼすインパルス反応の推定値、点線は1標準誤差バンド（68%信頼区間）。縦軸は各変数の対数值、横軸は期間（24期まで）。

付図表 2. 量的緩和期のマネタリーベース増加が及ぼすマクロ経済効果  
 —5変数（生産、MB、為替レート、株価、インフレ率）モデル—

①2001年3月-2006年3月、②2001年3月-2007年3月、③2002年3月-2007年3月



注：実線はマネタリーベース・ショックが各変数に及ぼすインパルス反応の推定値、点線は1標準誤差バンド（68%信頼区間）。縦軸は各変数の対数値（インフレ率のみ%）、横軸は期間（24期まで）。